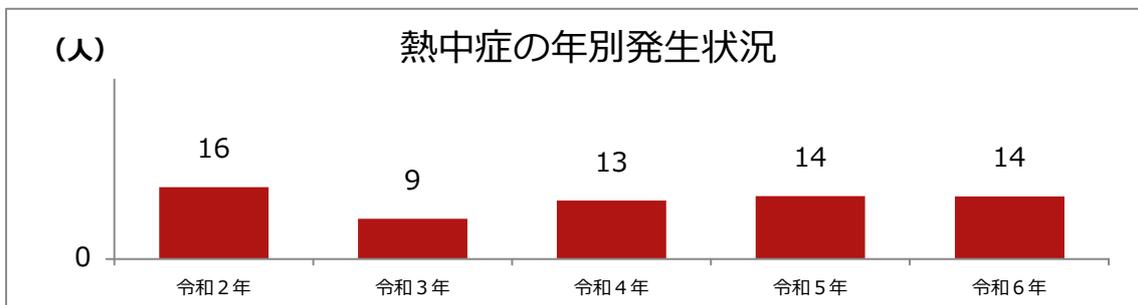


職場における熱中症による労働災害発生状況等について（群馬労働局管内）

※いずれも休業4日以上労働者数（令和7年3月末確定値）

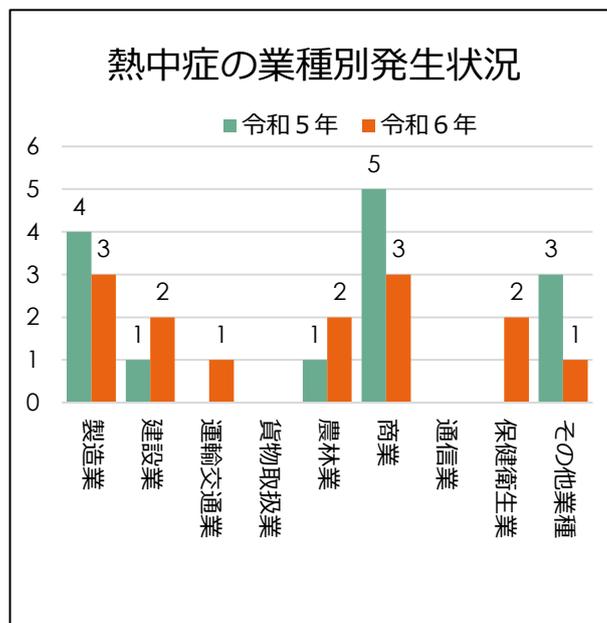
1. 発生状況の年別推移



令和6年の熱中症労働災害の発生件数は、前年と同数の14件となりました。

2. 令和5年・令和6年の業種別発生状況

業種別 \ 年別	令和5年	令和6年	総計
製造業	4	3	7
建設業	1	2	3
運輸交通業		1	1
貨物取扱業			
農林業	1	2	3
商業	5	3	8
通信業			
保健衛生業		2	2
その他業種	3	1	4
総計	14	14	28

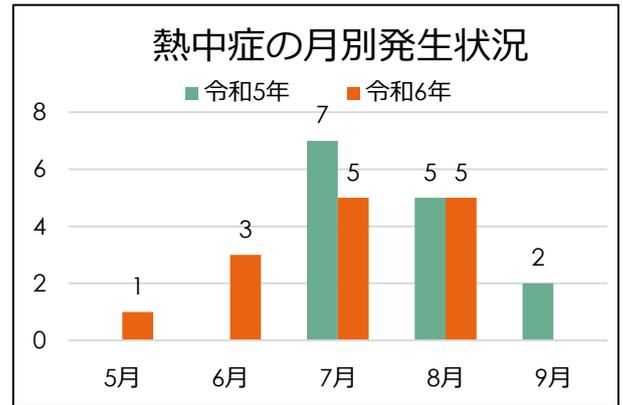


令和6年の熱中症による労働災害は、幅広い業種で発生しました。

近年の熱中症は、炎天下の屋外だけでなく屋内でも多く発生しています。

3. 令和5年・令和6年の月別発生状況

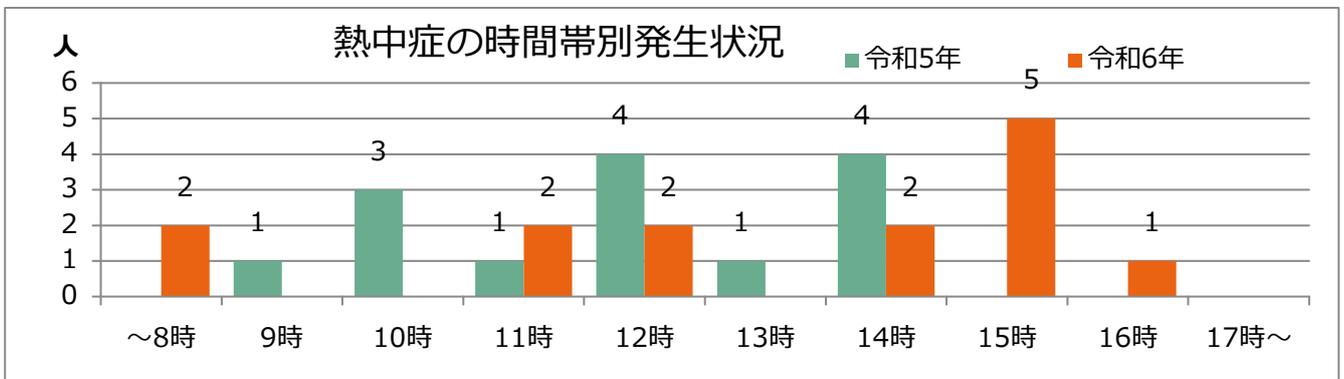
年別 月別	令和5年	令和6年	総計
5月		1	1
6月		3	3
7月	7	5	12
8月	5	5	10
9月	2		2
総計	14	14	28



令和6年の熱中症労働災害は、労働者の暑熱順化（体が暑さに慣れること）が未熟な7月と暑熱日が最も多い8月に多発しました。

4. 令和5年・令和6年の発生時間帯別発生状況

発生時間帯別	～8時台	9時台	10時台	11時台	12時台	13時台	14時台	15時台	16時台	17時台～
令和5年		1	3	1	4	1	4			
令和6年	2			2	2		2	5	1	



令和5年、令和6年とも、時間帯を問わず広く熱中症災害が発生しています。特に、最も気温の上がる12時から15時ごろの時間帯に注意する必要があります。

5. 令和5年・令和6年の曜日別発生状況

曜日別	日	月	火	水	木	金	土	総計
令和5年		5	1	1	3	2	2	14
令和6年	1	1	3	4	2	2	1	14

